

# 宍道湖流入・流出水調査月報

(平成12年10月期)

## 水質概要

10月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層19.9、中層19.9、下層20.0)に比べてほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、10月の水温変動は16~23で変動しており、中旬から下旬にかけて徐々に低下していた。15psu以上の高塩分水の流入時に若干の水温の上昇が見られるが顕著なものではなかった。また、水深による顕著な差異は見られなかった。

10月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層6.7psu、中層9.0psu、下層10.1psu)に比べて、上層、中層、下層ともに若干高い値を示していたが、ほぼ平年並の変動が見られた。また、10月においては15psu以上の高塩分水の流入は9日観測され、9月に比べると顕著な高塩分水の流入は見られなかった。10月は、気圧低下と高塩分水の流入に顕著な関係が見られた(図2参照)。

10月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに4.4~5.6mg/lと中層および下層で低い溶存酸素濃度の変動が見られた。(平均値:上層4.9、中層:4.8、下層:4.9mg/l)。9月と比較して顕著な貧酸素水の流入は見られなかった。図1に示すように、15psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。とくに顕著な変動は、10月29日~30日が顕著であった。

表1 10月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
上旬	上層	22.6	7.3	4.7
	中層	22.7	7.9	4.6
	下層	22.6	8.4	4.7
中旬	上層	21	7.9	5.2
	中層	21.1	8.7	5.3
	下層	21.1	9.4	4.4
下旬	上層	18.5	7.6	4.8
	中層	18.7	8.8	4.5
	下層	18.6	9.5	5.6
月間平均 (10月)	上層	20.6	7.6	4.9
	中層	20.8	8.5	4.8
	下層	20.7	9.1	4.9

(水温・塩分平年値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年5月より引用)(表中の数字は、平均値を示す)

## 水質

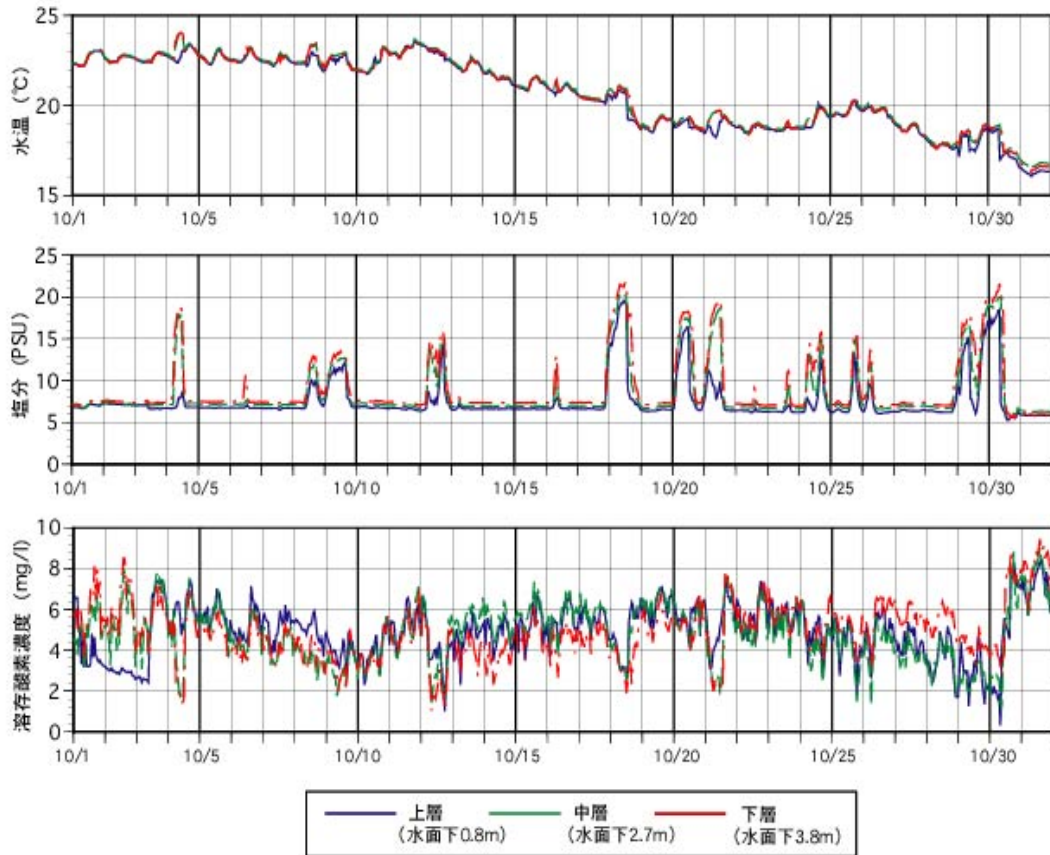


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

## 気象概況

10月は、表2に示すとおり、平均気温17.5（平年値16.1）であり、若干高い値での変動であった。図2に示すように、10月の顕著な気圧変動は、10月2日、9日および29日に急激な低下が見られたものの全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1014.6hPaは、平年値（平年値1018.0hPa）と比較して若干低かった。

表2に示すとおり、10月の日射量は、0.0611MJ/m<sup>2</sup>であり、9月と比較して若干低い値を示していた（9月平均値：0.087MJ/m<sup>2</sup>）。10月の風向・風速は、平均風速2.3 m/sec（平年値2.7 m/sec, 東風）であり、平年並であった。

表2 10月期の気象概要

	気温 ( )	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m <sup>2</sup> )
上旬	19.8	1012.6	1.9	南南東	0.0815
中旬	17	1015.6	2.5	南	0.0595
下旬	16	1015.6	2.3	南東	0.0439
月間平均 (10月)	17.5	1014.6	2.3	南南東	0.0611

(平年値は、平成11年気象の暦(山陰版)(財)日本気象協会中国センターより引用)  
(表中の数字は、平均値を示す)

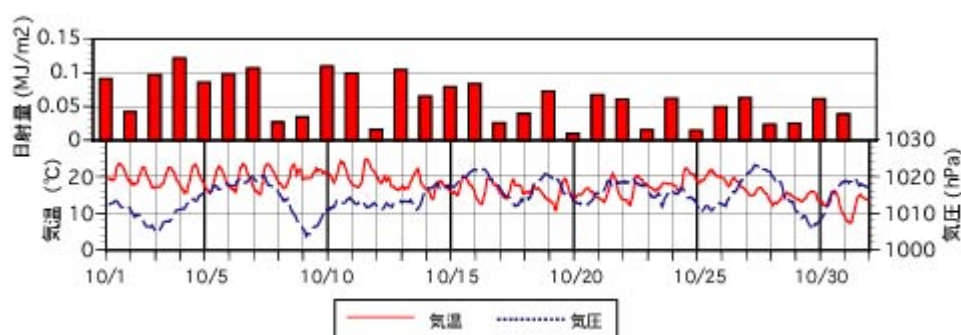


図2 気温・気圧・日射量の時系列変化

## 流況

10月の平均流速は、上層 3.3cm/sec、中層 8.6cm/sec、下層 12.4cm/secであった。10月の東方流速は、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越しているが、高塩分水流入時には中海から宍道湖へ向かう流れが顕著に見られた。

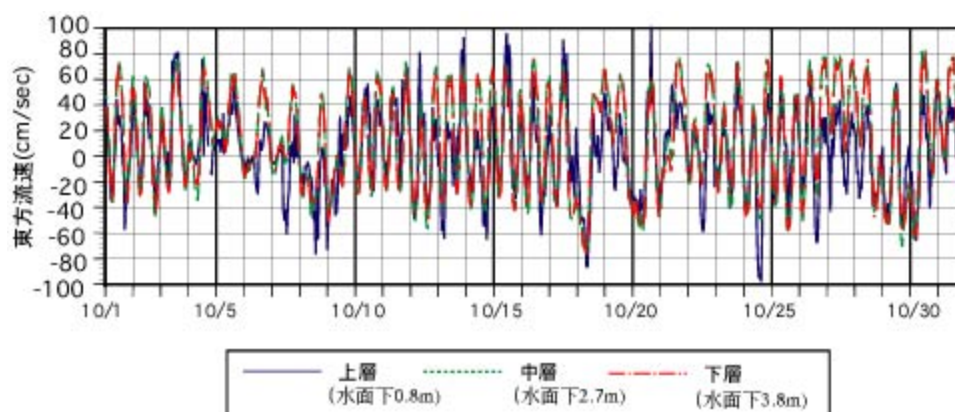


図3 東方流速の時系列変化